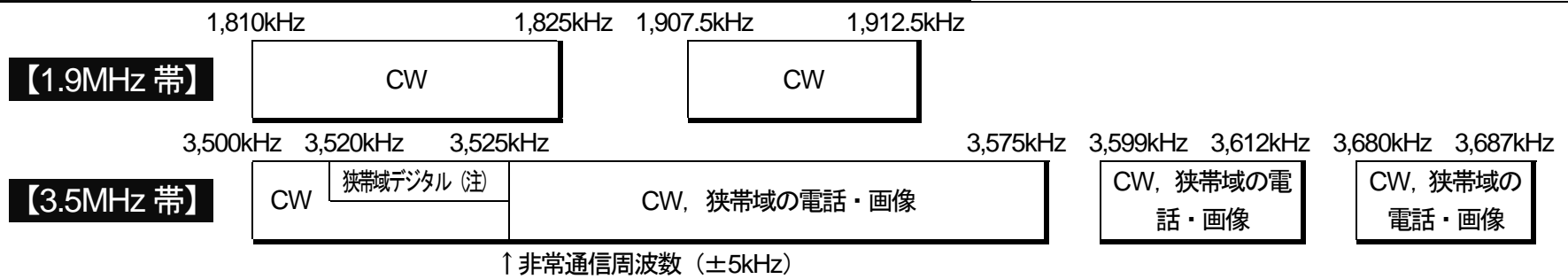


アマチュアバンドの使用区別図

(平成 20 年 4 月 28 日施行)

狭帯域：電波の占有周波数帯幅が 6kHz 以下のもの
 広帯域：電波の占有周波数帯幅が 6kHz を超えるもの

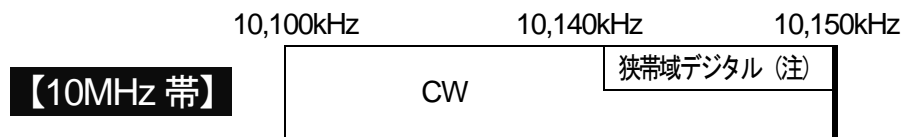


注 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。

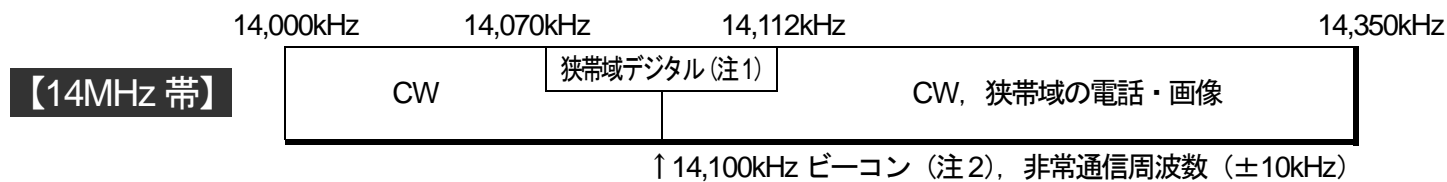


注1 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。

注2 7,030kHz から 7,045kHz までの周波数は、外国のアマチュア局との狭帯域デジタルによる通信にも使用することができる。

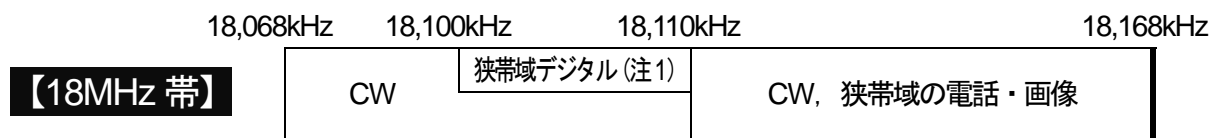


注 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。



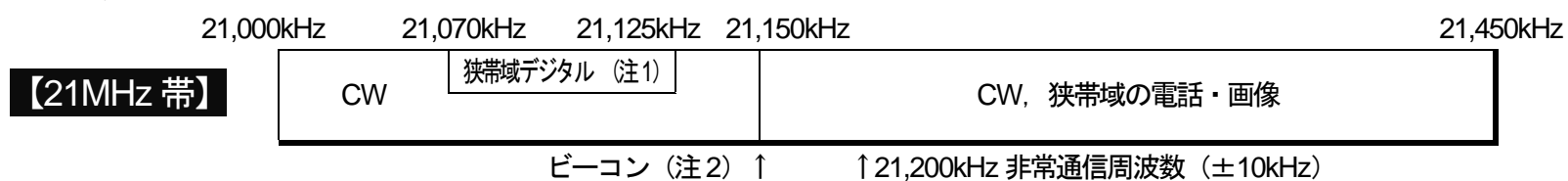
注1 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。

注2 14,100kHz の周波数は、JARL が国際的な標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。



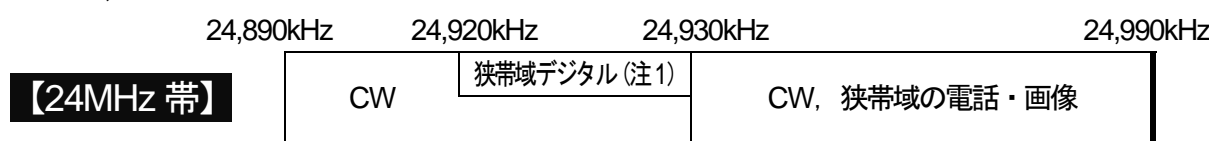
注1 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。 ↑ビーコン (注2)

注2 18,110kHz の周波数は、JARL が国際的な標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。



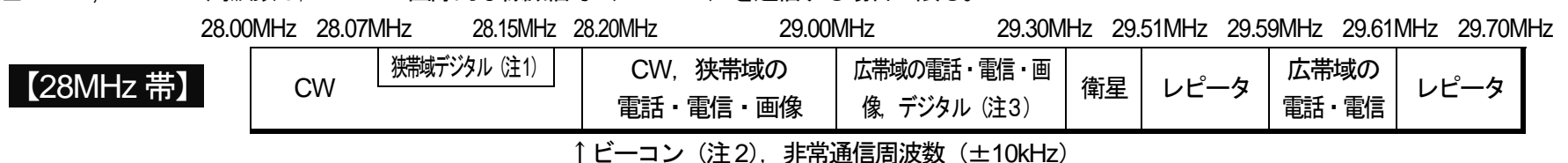
注1 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。

注2 21,150kHz の周波数は、JARL が国際的な標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。



注1 F1B, F1D, G1B, G1D に限る。 ↑ビーコン (注2)

注2 24,930kHz の周波数は、JARL が国際的な標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。



注1 A2A, A2B, A2D, F1B, F1D, G1B, G1D に限る。

注2 28.20MHz の周波数は、JARL が国際的な標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。

注3 29.00MHz から 29.30MHz までの周波数は、外国のアマチュア局との狭帯域の電話・通信・画像及び CW による通信にも使用することができる。



注1 外国のアマチュア局と通信を行う場合に限り、狭帯域デジタルによる通信にも使用することができる。

注2 50.01MHz の周波数は、JARL が標識信号 (ビーコン) を送信する場合に限る。

注3 51MHz から 51.5MHz までの周波数で、外国のアマチュア局と通信を行う場合は、CW 及び狭帯域の電話・通信・画像による通信にも使用することができる。

